HE system

PC Engine

将棋 初心者無用

©1991・1992 HOME DATA

ホームデータ

HOME DATA

株式会社ホームデータ

バックアップメモリ対応ソフト

HuCARD

このたびは、㈱ホームデータのHu CARD、〝将棋―初心者無用―〟をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用の前に、取扱い方、使用上の注意等、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい使用法でご愛用ください。
なお、この「取扱説明書」は大切に保管してください。

1 精密機器ですので、極端な温度・湿度条件下での使用や保管、および強いショックを避けてください。また、カードを無理に折り曲げたりもしないでください。



2 端子部に触れたり、水にぬらす等して汚さないでください。故障の原因となります。

3 シンナー、ベンジン等の揮発油でふかないでください。



4 テレビ画面からは、できるだけ離れて（2メートル程度）プレイしてください。

5 長時間プレイする場合は、健康のため、1時間ごとに5～10分の小休止をとってください。



※リセット方法
ゲーム中にRUNボタンを押しながらSELECTボタンを押すと、ゲームを最初からやりなおすことができます。

HuCARDはHE SYSTEM専用のゲームカードです。

※品質には万全を期していますが、万一製品に当社の責任による不都合がありました場合、新しい製品とお取りかえいたします。それ以外の責任はご容赦ください。※このソフトを当社に無断で複製すること、及び賃借業に使用することを禁じます。

はじめに

「将棋初心者無用」は、前作品(将棋初段一直線)をベースに機能面を充実し、将棋指しにとって最も使い易い将棋ソフトを目指して制作された作品です。

また、棋力に関しても新アルゴリズムの導入、定跡2万手(前作品は8千手)、などを駆使した結果、前作品以上の棋力を持ちながら考慮時間は大幅に改善されています。

棋力アップ、研究、鑑賞、棋譜保存、対局時計にと幅広くご活用して下さい。

目　次

「将棋初心者無用」の主な特徴…… 4
基本操作方法…… 6
タイトル画面…… 7
対局画面…… 8
各ウインドウの説明……10
❶ メインメニュー……11
❷ 対局設定……12
❸ 考慮時間設定……13
❹ サブメニュー……14
❺ 棋譜再現及び歴代棋譜観戦……15
❻ 詰め将棋……16
❼ 対局時計設定……17
❽ セーブ/ロード ……18
❾ 各種設定……20
大橋宗桂棋譜について……21
各メニュー関連図……22
詰め将棋規定……24
棋譜記録用紙……26

＜将棋初心者無用の主な特徴＞

●棋譜読み上げ機能

実戦さながらの雰囲気で貴方の棋譜を読み上げます。また、制限時間を設定していると、音声で秒読みを行ないます。

●時間制限機能

コンピュータの考慮時間を制限し、持ち時間を調整できます。

●対局時計機能

コンピュータを対局時計として使用できます。公式試合で行なわれている「持ち時間、秒読み」ルールをそのまま設定できます。また、終盤になると音声で秒読みを行ないます。

●詰め将棋問題

大内九段監修による詰め将棋問題を100問用意しました。寄せの棋力アップの為にもぜひ全問制覇して下さい。

●棋譜観戦機能

対局の後や途中で棋譜を再現することができます。指しつぎやレベルの変更、制限時間の変更なども自由に行なうことができます。また、日本最古の棋譜と言われる宗柱-算砂の8戦を観戦することもできます。

●棋譜保存機能（SAVE/LOAD）

棋譜のセーブ・ロードができるので、後日、棋譜の鑑賞や研究、対局の再開ができます。

（注意）この機能を使用するには「天の声」や「CD-ROMインターフェイス」などのバックアップユニットが必要です。

●盤反転機能

貴方が後手番でコンピュータと対局する場合、下から上に攻めることができる様になります。

●2枚落ち将棋

もちろん駒落ち定跡も覚え込ませてありますので油断はできません。
上手でも下手でも指せます。

●人間同士の対局

棋譜読み上げ将棋盤として使えるほか、プロの棋譜などを入力することができ、棋譜観戦機能を使って画面上で駒の動きが確かめられます。プロの棋譜や定跡の研究にも使用できます。

●ウインドウ機能

メニューは全てウインドウ形式で表示されるので煩雑になりがちの入力操作もスマートに入力できます。また、ウインドウ間の移動も簡単なので、対局を中断してセーブ、2手戻して再開といった複雑な動きでも楽に操作できます。

●その他の機能

音楽(BGM)のON/OFF、音声のON/OFF、画面位置の微調整、駒・盤の色調整ときめ細かな設定が可能です。

基本操作方法

●十字ボタン
ウインドウ内のカーソル移動。
対局中のカーソル移動。
つかんだ駒の移動。

●連射スイッチ
連射は使用しません。
一番下にセットして下さい。



●セレクトボタン
ウインドウ内のカーソル移動。
RUNボタンと同時に押すと
リセットされます。

●RUNボタン
対局中、サブメニューの
呼び出し。

●Ⅰボタン
ウインドウ内の決定。
対局中、駒をつかむ。
つかんだ駒を置く。

●Ⅱボタン
ウインドウ内のキャンセル。
対局中、カーソルを駒台へ移動。
つかんだ駒を元へ戻す。

タイトル画面

<タイトル画面での操作について>



タイトル画面

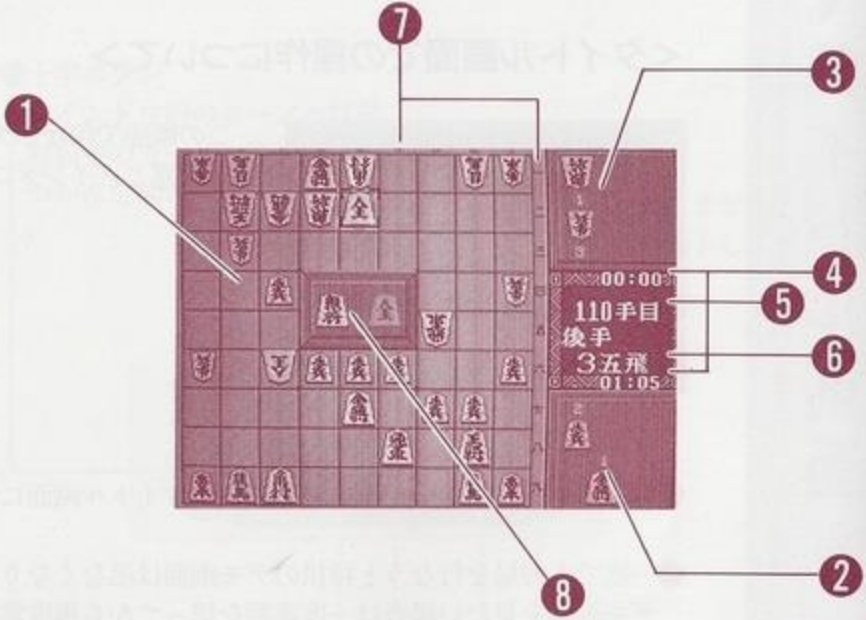
この画面で何かボタンを押すと将棋盤とメインメニューが現れます。

●将棋のデモ画面で何かボタンを押すとタイトル画面になります。

●一度でも対局を行なうと将棋のデモ画面は出なくなります。もう一度デモ画面を見たい場合は一度電源を切ってから再度電源を入れて下さい。この時、棋譜が失われますので注意して下さい。



対局画面



❶盤面

将棋盤と盤上の駒が表示されます。盤反転しない限り先手が下から、後手が上から攻めます。

❷駒台(下)

先手の持ち駒が表示されます。枚数は駒のすぐ上に表示されます。盤反転すると後手の持ち駒になります。

❸駒台(上)

後手の持ち駒が表示されます。枚数は駒のすぐ下に表示されます。盤反転すると先手の持ち駒になります。

❹考慮時間表示

考慮残り時間を表示し、カウントダウンします。ただし、考慮時間が無制限に設定されていると対局開始からのトータル時間を表示します。

❺手数表示

対局開始から何手目であるかを表示します。

❻指し手表示

最後に指した手を表示します。手番、移動先、駒の種類の順に表示します。

❼盤面の座標

駒の位置を示すために使用します。盤反転すると1～9が逆順になります。テレビによっては盤上部の座標が画面からはみ出す場合がありますがこの場合は、盤面の表示位置を調整して下さい。(→各種設定　P20)

❽成り選択ウインドウ

駒が成れる時自動的に現れます。十字ボタンの左右で選択し、①ボタンで決定して下さい。

<対局の操作について>

●□(カーソル)が出ている時①ボタンでカーソル上の駒をつかみます。持ち駒がある場合は⑪ボタンでカーソルを駒台へ移動できます。

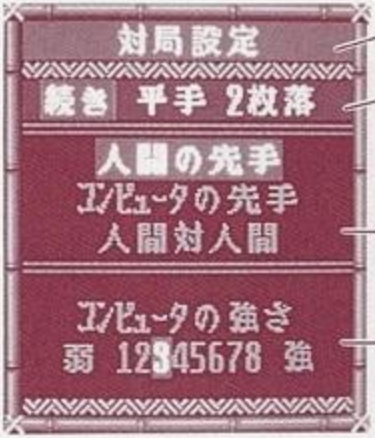
●駒をつかんだ状態の時は①ボタンでカーソルの位置に駒を置きます。また、⑪ボタンを押すとつかんでいた駒を元の位置に戻します。

●RUNボタンを押すといつでもサブメニューが出現します。

(→サブメニュー　P14)

各ウインドウの説明

<ウインドウ内での基本操作>



ウインドウのタイトルです。

青バックのウインドウはセレクト中のウインドウです。赤で点滅しているのは、セレクト中のカーソルです。

濃紺バックのウインドウはすでにセレクトされたか、まだセレクトされてないウインドウです。赤で表示されているのは、セレクトされている項目です。

●赤で点滅しているカーソルを十字ボタンで移動させます。

●決定したい項目の上にカーソルを移動させて、Ⅰボタンで決定します。

●間違って決定してしまった場合や決定事項を変更したい場合はⅡボタンでキャンセルして(この時カーソルは1つ前のウインドウに移動します)再度決定して下さい。

●濃紺バックのウインドウへ十字ボタンでカーソルを移動することはできません。Ⅰボタン(決定)かⅡボタン(キャンセル)で移動して下さい。

●ウインドウから脱出する際はⅡボタンを連続して押して下さい。

1 メインメニュー

<メインメニューについて>



対　局
対局をする時に選択します。
(→対局設定　P12)

棋譜再現
対局後の棋譜再現をする時に選択します。(→棋譜再現　P15)

詰め将棋
大内九段監修の詰め将棋問題100問に挑戦する時に選択します。(→詰め将棋　P16)

対局時計
対局時計として使用する時に選択します。(→対局時計　P17)

SAVE/LOAD
バックアップユニットに棋譜をセーブ・ロードする時に選択します。(→セーブ・ロード　P18)

歴代棋譜観戦
一世名人宗桂の棋譜を観戦する時に選択します。
(→歴代棋譜観戦　P15)

●メインメニューでⅡボタンを押すとタイトル画面に戻ります。
(→タイトル画面　P7)

<対局設定について>



対局開始時の盤面の状態を選択します。「続き」を選択すると、前回の対局の続きから対局できます。また、電源投入直後は「平手」の選択と同じ効果になります。

対局者を選択します。二人で対局する場合は、パッドを交互に使用して下さい。また、マルチタップを使用すると、パッド①が先手側、パッド②が後手側になります。

コンピュータとの対局を選んだ場合、コンピュータの強さを設定します。

●対局設定が終了すると考慮時間設定になります。

●盤面の状態の設定で「平手」か「2枚落ち」を選択すると棋譜が無くなります。これらを選択すると「棋譜が消えます」という確認ウインドウが出ますので、無くなってもよい場合は「OK」を選択し、まだ棋譜が必要な場合は「NO」を選択した後にセーブするなどの処置をして下さい。

3 考慮時間設定

<考慮時間設定について>



①先手の持ち時間を選択します。「0分」を選択すると秒読みだけの早指し戦ができます。また、「無制限」を選択すると時間制限無しで対局できます。

②先手の持ち時間終了後の一手制限時間(秒読み)を選択します。

③後手の持ち時間を選択します。

④後手の持ち時間終了後の一手制限時間(秒読み)を選択します。

●ウインドウは①②③④の順に移動します。

●考慮時間設定が終了すると対局が始まります。

4 サブメニュー

<対局中のサブメニューについて>



対局を中断し、メインメニューに戻るとき選択します。

プレイヤーが負けを認めて投了するときに選択します。

盤面を上下逆さに表示します。先手は下へ攻め、後手は上へ攻めることになります。もう一度選択すると元へ戻ります。

音声・音楽のON/OFF、画面の位置調整、駒・盤色調整を行う時に選択します。
(→各種設定　P20)

●サブメニューは対局中にRUNボタンを押すと現れます。

●サブメニュー出現中にⅡボタンを押すとサブメニューを消すことができます。

●サブメニュー出現中、考慮時間の時計は止まっています。一時的な中断に使用して下さい。

●「対局中断」または「投了」で対局を終了しても棋譜は残っています。例えば、二手戻し(待った)を行なうときは、メインメニューから「棋譜観戦」の「棋譜再現」に入り、二手戻してサブメニューの「指しつぎ」を選択することで可能です。
(→棋譜観戦　P15)
また、メインメニューから「SAVE/LOAD」を選択し、セーブすると後日続きから対局することもできます。
(→セーブ・ロード　P18)

5 棋譜再現及び歴代棋譜観戦

<棋譜観戦の操作について>

①ボタンで1手進めます。
⑪ボタンで1手戻します。
RUNボタンで棋譜観戦サブメニューを呼び出します。

<棋譜観戦サブメニューについて>



棋譜観戦を中断し、メインメニューに戻ります。

盤面の状態を維持して「対局設定」に入ります。「対局設定」で「続き」を選択するとその状態から指しつぎができます。

盤面の状態を初手に戻します。

盤面の状態を最終手に進めます。

盤面を上下逆さに表示します。もう一度選択すると元へ戻ります。

音声・音楽のON/OFF、画面の位置調整、駒・盤色調整を行う時に選択します。(→各種設定　P20)

<棋譜観戦選択について>



一世名人である大橋宗桂の棋譜を観戦する時、第1戦から第8戦の間で選択します。

(→大橋宗桂棋譜　P21)

6 詰め将棋

<詰め将棋選択について>



問題の詰み手数を選択します。

問題番号を選択します。
問題数は詰み手数によって異なります。

●問題番号を選択すると詰め将棋画面になります。

<詰め将棋の操作について>

●十字ボタン、Ⅰボタン、Ⅱボタンの操作は通常の対局と同様です。RUNボタンを押すと詰め将棋を中断して詰め将棋選択ウインドウに戻ります。

●正しい手を指さなかったり、王手をしなかった場合は、コンピュータが一手指して不正解表示になります。この時は何かボタンを押して詰め将棋選択ウインドウを出し、再度挑戦して下さい。

●最後まで正しい手順で詰んだ場合は正解表示になります。この時も何かボタンを押して詰め将棋選択ウインドウを出し、別の問題に挑戦して下さい。

7 対局時計

<対局時計設定について>

●「対局設定」の考慮時間設定と同じです。
（→考慮時間設定　P13）

<対局時計画面について>



①先手残り時間　　④後手残り時間
②先手設定時間表示　　⑤後手設定時間表示
③手番表示　　⑥手数表示

●①ボタンまたは⑪ボタンを押すと手番が交代します。

●マルチタップを使用すると、パッド①が先手側、パッド②が後手側になります。

●RUNボタンを押すと考慮時間設定ウィンドウに戻ります。

8 セーブ・ロード

(注意)セーブ・ロード機能は、バックアップユニットが接続されていないと使用できません。

<セーブ・ロード選択について>



セーブ(棋譜保存)かロード(棋譜読み出し)かを選択します。ロードを行なうと現在の棋譜は失われます。

登録番号を指定します。
10種類の棋譜が保存できます。

入力の確認を行ないます。

●ロードを行なうと、過去に保存した棋譜が読み込まれ、盤面はロードした棋譜の最後の状態になります。メインメニューから「対局」を選択し、「続き」で始めると過去の続きから対局できます。

●セーブを行なうと、現在の棋譜を保存し、後日続きから対局することができます。また、プロの棋譜などを「対局」の「人間対人間」で入力し、後日ゆっくりと研究することも可能です。

<バックアップユニットについて>

●PCエンジンHuカードには、棋譜を記録するバックアップの機能がありません。しかし、バックアップユニット(CD-ROMのインターフェイスユニットや「天の声」など)が接続されていると記録することができます。

●バックアップユニットに記録することをSAVE(セーブ)と言い、セーブしたものを読み出すことをLOAD(ロード)と言います。

●セーブまたはロード中に「バックアップユニットがありません」の表示が出た場合バックアップユニットが正しく接続されていません。PCエンジンの電源を切り、正しく接続して下さい。

●セーブまたはロード中に「初期化しますか」の表示が出た場合は初期化が必要です。「OK」を選択して初期化して下さい。

●セーブ中に「容量が足りません」の表示が出た場合は他のゲームの使わなくなった記録を消して下さい。

●ロード中に「棋譜がありません」の表示が出た場合は過去にセーブを行なっていない登録番号を選択していますので、記録済みの番号を選択して下さい。
また、バッテリー切れや誤操作で棋譜が消える場合もありますので注意して下さい。

9 各種設定

<各種設定について>



音楽(BGM)のON/OFFを設定します。

音声のON/OFFを設定します。

画面の上下左右が欠けていて見えない場合、盤面の表示位置を調整します。
一度①ボタンを押すと調整状態になりますので、十字ボタンで盤面が見える様に調整して下さい。⑪ボタンを押すと調整状態から脱出します。

駒と盤の色を選択します。お好みの色でお楽しみ下さい。



大橋宗桂棋譜

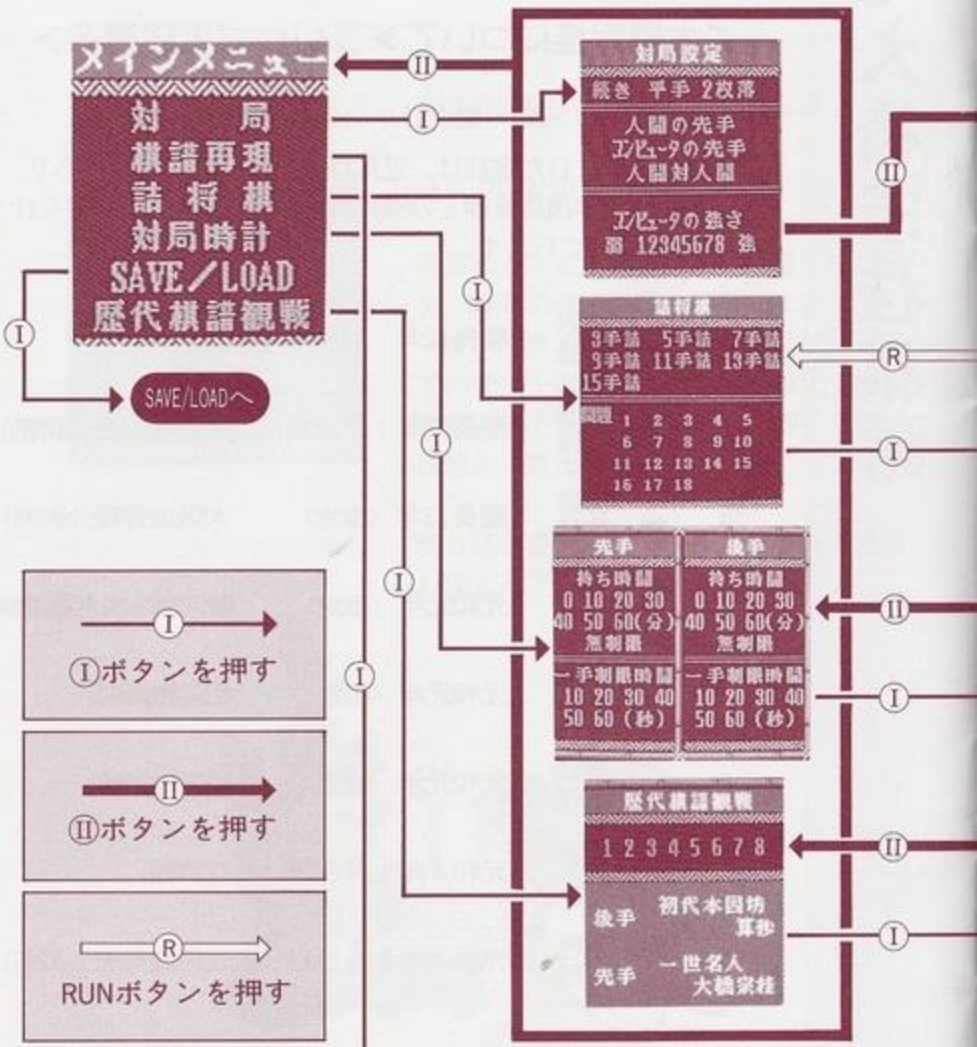
<大橋宗桂について>

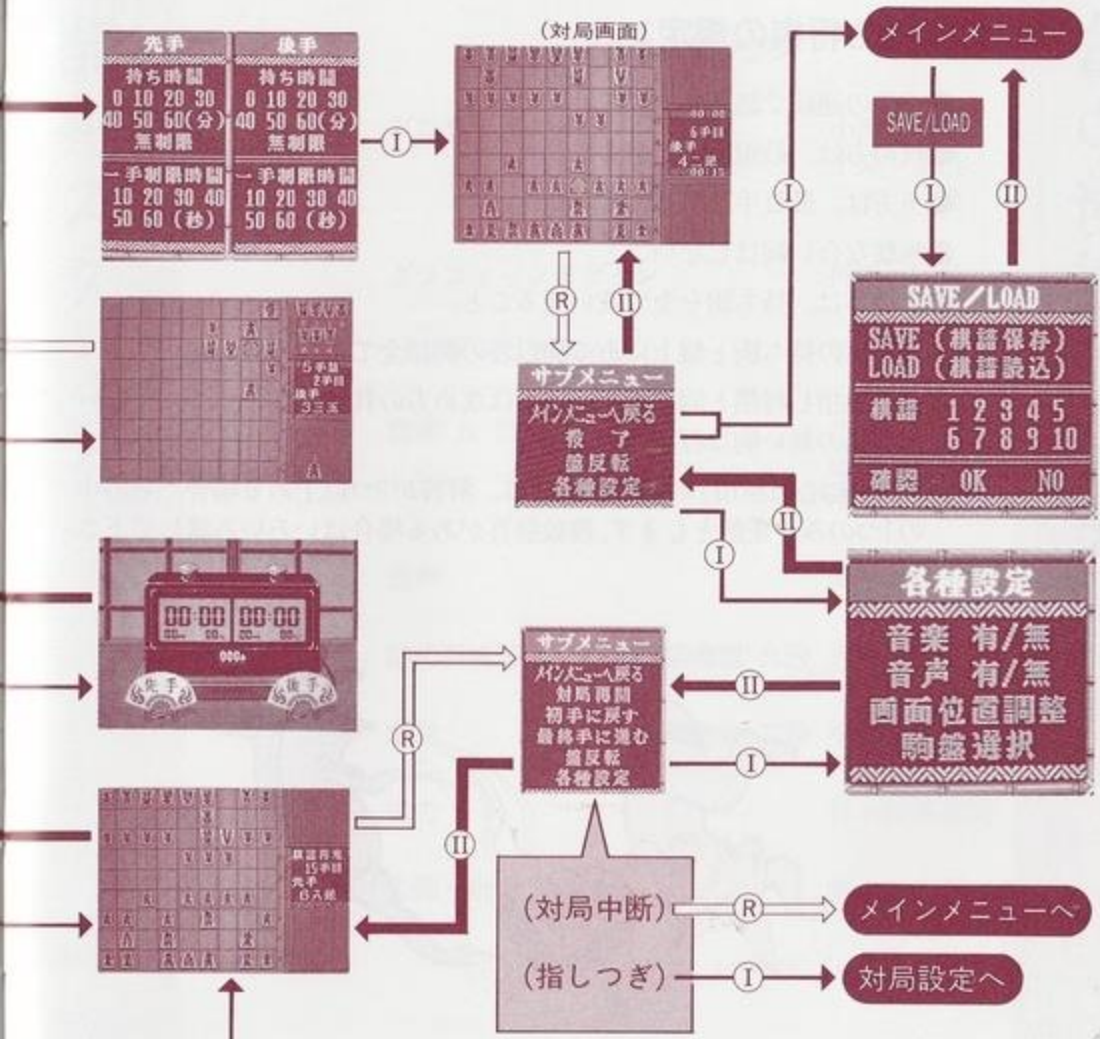
●弘治元年(1555)～寛永11年(1634)

●京都に生まれた宗桂は、近代将棋(小将棋)の始祖であり、一世名人です。初代本因坊算砂との8戦は日本最古の棋譜と伝えられ、宗桂が7勝1敗で勝っています。

1	勝	算砂 宗桂	(慶長12年　対局月日不明)	
2	勝	算砂 宗桂	(慶長13年1月28日	大阪城秀頼公御前)
3	勝	算砂 宗桂	(慶長13年〈推定〉	大阪城秀頼公御前)
4	勝	宗桂 算砂	(元和元年〈推定〉	駿河御本丸相国様御前)
5	勝	宗桂 算砂	(元和元年〈推定〉	相国様御前)
6	勝	算砂 宗桂	(元和元年〈推定〉	相国様御前)
7	勝	算砂 宗桂	(元和4年1月20日	江戸城)
8	勝	宗桂 算砂	(元和4年8月11日	江戸城秀忠公御前)

各メニュー関連図


メインメニュー
対局
棋譜再現
詰将棋
対局時計
SAVE／LOAD
歴代棋譜観戦
SAVE/LOADへ
対局設定
続き 平手 2枚落
人間の先手
コンピュータの先手
人間対人間
コンピュータの強さ
弱 12345678 強
詰将棋
3手詰 5手詰 7手詰
9手詰 11手詰 13手詰
15手詰
問題 1 2 3 4 5
6 7 8 9 10
11 12 13 14 15
16 17 18
先手
後手
持ち時間
0 10 20 30
40 50 60(分)
無制限
一手制限時間
10 20 30 40
50 60 (秒)
歴代棋譜観戦
1 2 3 4 5 6 7 8
後手 初代本因坊 算砂
先手 一世名人 大橋宗桂
Ⅰボタンを押す
Ⅱボタンを押す
RUNボタンを押す


先手
後手
持ち時間
0 10 20 30
40 50 60(分)
無制限
一手制限時間
10 20 30 40
50 60 (秒)
(対局画面)
メインメニュー
SAVE/LOAD
SAVE／LOAD
SAVE (棋譜保存)
LOAD (棋譜読込)
棋譜 1 2 3 4 5
6 7 8 9 10
確認 OK NO
サブメニュー
メインメニューへ戻る
投了
盤反転
各種設定
各種設定
音楽 有/無
音声 有/無
画面位置調整
駒盤選択
サブメニュー
メインメニューへ戻る
対局再開
初手に戻す
最終手に進む
盤反転
各種設定
(対局中断)
(指しつぎ)
メインメニューへ
対局設定へ
I
II
R

詰め将棋の規定

＜詰め将棋の規定＞

- 王手の連続で詰ませること。
- 攻め方は、最短手順で詰ますこと。
- 玉方は、最長手順で逃げること。
- 無駄な合い駒はしないこと。
- 攻め方は、持ち駒を全て使い切ること。
- 攻め方の持ち駒と盤上にある駒以外の駒は全て玉方の持ち駒とする。
- その他指し将棋と同じく、千日手は攻め方の負け、打ち歩詰め・二歩・行き場の無い駒は打てない。
- 「将棋初心者無用」の詰め将棋では、解答が2つ以上ある場合、その中の1つのみを正解とします。複数解答がある場合はいろいろ試して下さい。



開発スタッフ

<開発スタッフ>

プログラム	小浜　義之 小林　正浩 三木　覚
グラフィックデザイン	神内　純弘
パッケージデザイン	小玉　英章
音楽 & 効果音	遠藤　宏 藤井　健一 中嶋　孝志
音声	岡本　洋子
詰め将棋監修　日本将棋連盟 九段	大内　延介
定跡　奨励会 二段	増田　裕司
協力	日本将棋連盟
企画・制作	㈱ホームデータ

©1991・1992　HOME DATA

棋譜記録用紙

※棋譜保存の整理にお使い下さい。

1		6	
2		7	
3		8	
4		9	
5		10	

絶賛発売中!!

日本将棋連盟公認!! "初段認定モード" に勝つと、連盟より初段の認定が受けられます。



「将棋・初段一直線」は、日本将棋連盟より、一級の実力を認定された、連盟公認ソフトです。「将棋・初段一直線」の《初段認定戦モード》で三連勝すると、日本将棋連盟より、初段が認定されます。また、パソコン用、「最強版」はさらに定跡を10万手追加し、まさに最強となっています。

PCエンジン用ソフト
将棋 初段一直線
● 定価¥6,700(税別)

パソコン用ソフト
将棋 初段一直線
最強版
● PC-9801シリーズ5"2HD/3.5"2HD
定価¥14,800(税別)
● J3100シリーズ3.5"2HD
定価¥12,800(税別)

※ご好評につき、初段認定の受付は無期限延長させていただきます。

HOME DATA
株式会社ホームデータ

HOME DATA
株式会社ホームデータ
〒651 神戸市中央区葺合町馬止1-10 ホームデータビル TEL.078-261-2790